

## 2013年参議院選総括

- 1、選挙演説は32回を予定していたが、3回をバッティング等で中止せざるを得なかったのはたいへん残念であった。演説会が最も盛況だったのは最終日の秋葉原で120～130名ぐらいいは集まっていた。印象に残っているのは新宿西口で、かなりの皆さんがいて、拍手が起こったのは新宿西口では初めてで意を強くした。11時～12時に行った演説は暑さとの戦いでもあった。バテテはいけないので傘を差しての演説をさせてもらった。
- 2、選挙カーのテープ放送は、「日本経済について」「iPS細胞の作製・利用は不可」「在日韓国人の本質」「政治責任追及」の4本を行った。限られた選挙日数の中では東京全域の主要な駅前・商店街をカバーするには無理があった。選挙前からの街頭宣伝が必要であるが今回それが不十分だったと反省している。
- 3、ポスター貼りのボランティアの皆さんには、今回20人に参加していただきました。約5000箇所の選挙掲示板に貼っていただきました。この場を借りましてもお礼を申し上げたいと思います。誠にありがとうございました。心からの感謝を申し上げます。暑い中での皆さんのご苦勞を思うときに、唯一神又吉イエスとして責務をひとしお感じます。更なる政治活動を以って党勢拡大し、ボランティアの皆さんにもより多く集まっていただけるように頑張りたいと思っています。
- 4、選挙カーでの政治責任追求は6人の対立候補に行った。基本的文句は「〇〇〇〇、選挙ポスターで言っている通りである。責任をとって日本人であるなら腹を切って死ぬ。他人を殺すなら自分が死ぬべきが当然。」と「〇〇〇〇、選挙ポスターで言っている通りである。責任をとって日本人であるなら死ぬ。他人を殺すなら自分が死ぬべきが当然。」である。状況によって「あんたのために毎日5万人以上が死んでいるんだぞ。」「論理なしバカ。」その他の言葉も言ってやった。
- 5、又吉イエスの通称認定は今回も通らなかった。立候補届けの事前審査のときに選挙長に面会を求めたが留守で通称認定の可否は立候補届けの時にするとのことであった。そこまで認定がいくことははじめてであるが、係員2人の理不尽な議論の中で、今回も認定は不可との話が出てきたので、選挙ポスターの政治責任追及と同じ論理で選挙長の責任を追及した。「通称認定が理不尽にも下りないがために毎日、日本・世界で5万人以上が死んでいる。その責任をとって選挙長は日本人であるなら腹を切って死ぬべきである。」と選挙長に伝えるように係員に言い渡した。
- 6、今回の得票数5633票を投じたお一人びとりに心からの感謝を申し上げます。唯一神又吉イエスの政治、世界経済共同体日本の基礎となる票であり、たいへんにその票を重く見えています。ありがとうございました。唯一神又吉イエスの世界経済共同体日本・世界経済共同体は日本人をはじめ人類一人びとりにほんとうの命・人生・生活という幸福を与えるものであり、故に唯一神又吉イエスの政治はただ・絶対に前

進して目的を果たすことを責務としています。この目的・責任を持って今後も頑張ります。支持者の皆さん、HPをご覧の皆さんには今後とも宜しくお願い致します。

2013年8月3日 唯一神又吉イエス